

公益的機能の持続的な発揮のため、手入れされず放置され、緊急に整備が必要な人工林を間伐した事例

事業名：環境貢献林整備事業
市町名：三次市

取組のきっかけ・経緯

・手入れがされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、管内森林組合に調査を委託し、調査結果に基づき施業地を取りまとめ、事業を実施した。

今後の展開

・森林所有者の中に、事業について把握されていない方や不在所有者が多く、事業の取りまとめに時間を要しているため、今後も市広報誌等を活用し、広く周知していく。

取組の内容

- ・事業主体：三次市
- ・実施場所：三次市内
- ・業務委託先：三次地方森林組合
甲奴郡森林組合
- ・業務量：75.44ha
- ・業務金額：35,111千円
- ・業務期間：令和4年9月16日～令和5年3月28日

取組後の感想

【良かった点】

・間伐を行ったことで、林内の下層植生が回復し、水源涵養や土砂流出防止等公益的機能の発揮が期待できる。

【悪かった点】

・事業について把握されていない方や不在所有者が多く、取りまとめに時間を要した事業地があった。

【整備前】



【整備後】



竹林整備と担い手となるボランティアを育成した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：三次市

取組のきっかけ・経緯

- ・竹林が利用されなくなる中で、放置竹林が拡大し、周辺農地がイノシシによる被害を受ける要因となっている。
- ・そのため、竹林整備ボランティアの育成プロジェクトを立ち上げ、竹林整備活動と竹チップの農業利用等による竹林を資源として生かす活動を始めた。

今後の展開

- ・竹林整備のためのチェーンソー講習会、竹林内の植生調査、竹林整備活動等のワークショップを継続する。
- ・この活動が広がることで、放置竹林の解消、イノシシ被害の低減、竹林資源の有効活用が期待できる。

取組の内容

- ・事業主体：特定非営利活動法人
伊賀和志江の川鐵道
- ・実施場所：三次市作木町伊賀和志地区
- ・活動内容：竹林整備活動5回
(0.5ha、参加者25人)
竹林植生調査1回(参加者5人)
- ・事業金額：255千円
- ・実施期間：令和4年8月29日～令和5年3月20日

取組後の感想

【良かった点】

- ・地元住民からイノシシの出没が減少したと活動を評価する声が出ています。
- ・他地域の竹林でも自主的な活動が始まっている。
- ・竹チップの農業利用が年々増加している。

【悪かった点】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、少人数の参加となった。

【活動の様子】

チェーンソーによる竹林の整備活動



【活動の様子】

チップパーによる竹チップの生産

